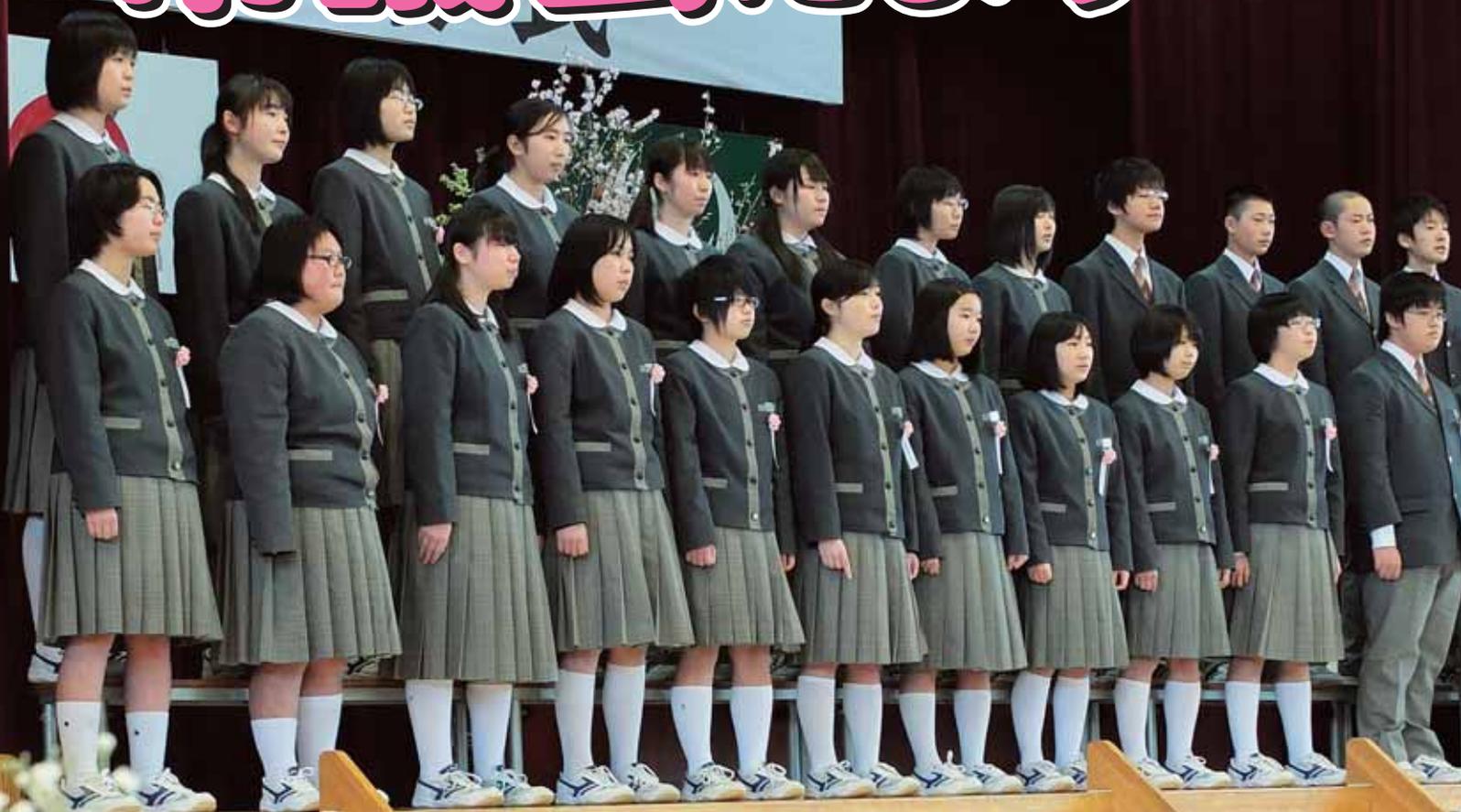


# 市議会だより



平成25年度  
骨格予算 **総額732億円を可決** 2

**補正  
予算** 「元気交付金」などに19億9500万円追加 5

東日本大震災特別委の最終報告 7

**一般質問**  
代表質問に5人 個人質問に13人登壇 8

「私もひとこと」

# 平成25年度 予算

# 総額 732億円を可決

2月定例議会は、2月13日から3月6日までの22日間の会期で開かれました。平成25年度予算、平成24年度補正予算、条例の制定・廃止・改正など51案件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

## 平成25年度 骨格予算編成

平成25年度当初予算は、任期満了に伴う市長の選挙などが行われることから、義務的経費、一般行政経費を主とした骨格予算で編成されました。また、これまでに実施してきた「行政改革大綱」および「集中改革プラン」を柱に、既存事業の達成度合や費用対効果を検証し、将来の財政構造を見据えた事業の統廃合や縮小など、積極的な取捨選択に努めながら必要な事業を厳選した編成となっています。

完全復興を成し遂げ、災害に強いまちづくりや放射性物質への対策などを進める災害復旧などに係る経費や平成26年度の開校に向けた（仮称）金成小中一貫校の建設事業費などが計上され、対前年度比12%減の予算規模となっています。

国民健康保険特別会計では、平成24年度の決算見込額を基に、医療給付費などの推移などを踏まえ、3・1%増の編成となっています。介護保険特別会計では、保険給付費などの推移や介護認定率の向上などを踏まえ、4・2%増の編成となっています。

### 平成25年度 各種会計予算のあらまし

会計名	平成25年度予算額	平成24年度予算額	比較増減	増減率
一般会計	373億1,100万円	424億2,000万円	△ 51億 900万円	△ 12.0%
特別会計	247億7,800万円	235億5,300万円	12億2,500万円	5.2%
国民健康保険（事業勘定）	94億5,500万円	91億6,700万円	2億8,800万円	3.1%
介護保険	83億2,000万円	79億8,800万円	3億3,200万円	4.2%
後期高齢者医療	9億 500万円	9億 500万円	0万円	0.0%
下水道事業	30億4,500万円	27億8,300万円	2億6,200万円	9.4%
農業集落排水事業	4億5,600万円	2億9,100万円	1億6,500万円	56.7%
合併処理浄化槽事業	3億8,800万円	3億8,400万円	400万円	1.0%
簡易水道事業	18億1,400万円	15億9,000万円	2億2,400万円	14.1%
診療所	3億9,500万円	4億4,500万円	△ 5,000万円	△ 11.2%
水道事業会計	25億 100万円	22億4,100万円	2億6,000万円	11.6%
病院事業会計	86億2,900万円	96億8,900万円	△ 10億6,000万円	△ 10.9%
合計	732億1,900万円	779億 300万円	△ 46億8,400万円	△ 6.0%

※水道事業会計、病院事業会計は収益的支出及び資本的支出の支出額を記載しています



収納サービスが始まる ゆうちょ銀行

平成25年4月1日から、さらなる効率的な行政サービスのために、「ゆうちょ銀行」での市

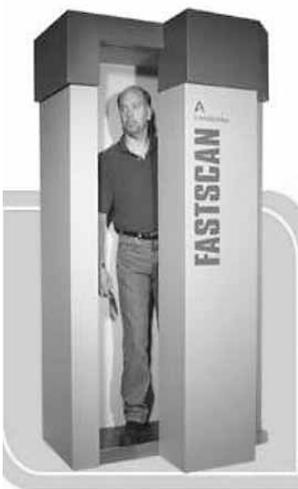
税や使用料・利用料などの収納サービスが実施されます。

**ゆうちょ銀行での  
収納サービス  
60万円**

平成17年度に55施設に設置されたAED（自動体外式除細動器）

の本体について、交換時期を迎えたことから更新されます。

**AEDの更新  
1880万円**



ホールボディカウンター

市民の健康不安を払しょくするため、ホールボディカウンターに

より健康影響調査が実施されます。

**原子力災害健康不安  
対策事業  
990万円**



更新されるAED

**討  
論**

**一般会計予算**

**賛成** 佐々木 幸一 議員

骨格予算とは言え、厳しい経済情勢が続く中で、既存事業の達成度合いや費用対効果を厳密に検証するとともに、事業の統廃合や縮小などに積極的に取り組む編成となっており、栗原市民の安全・安心、子育て環境の整備、地域特性を生かした産業のまちづくりや地域活性化などに配慮することも、2度の震災からの完全復興を目指しながら、将来を見据えた市政運営のための予算案であり、賛成するものである。

**反対** 鈴木 道夫 議員

予算は、住民に課した税などを全体の福祉向上にどう活かすかを決める、いわば「富の再配分」である。多くは有益な施策と認めるが、「行政改革」の名のもと、徹底した経費節減で、非正規雇用、業務委託に切り換える方針である。結果的に積立金が増える一方で、サービスの後退、低賃金労働を余儀なくさせ、格差拡大をもたらす。国民不在の国政から住民生活を守る視点が欲しい。

**2月定例議会での審議結果（意見が分かれた議案について掲載しました）**

議案	議員名	議決結果	採 決 結 果																														
			菅原 勇喜	小岩 孝一	大瀧 信子	欠 員	鈴木 道夫	佐々木 嘉郎	阿部 貞光	佐々木 幸一	瀬戸 健治郎	欠 員	濁沼 一孝	沼倉 猛	佐藤 優	相馬 勝義	三塚 東	石川 正運	高橋 義雄	佐藤 勇	欠 員	三浦 善浩	佐藤 文男	佐々木 脩	大関 健一	富塚 正夫	五十嵐 勇	鹿野 芳幸	高橋 勝男	欠 員	佐藤 久義	佐藤 千昭	
平成25年度一般会計予算		可決	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※ 採決結果欄の説明は次のとおり 「○」⇒賛成、「×」⇒反対、「議」⇒議長

# 旧築館高校跡地購入、若柳中フール改築などに 19億9500万円追加

今回の一般会計補正予算は、平成24年度予算全体の執行見込み額を把握した2月補正予算に、最終日の3月6日には、国の緊急経済対策を踏まえた「地域の元気臨時交付金」に係る事業などの3月補正予算が加えられ、合わせて19億9500万円の追加が提案されました。補正後の平成24年度一般会計予算は、歳入・歳出それぞれ500億5689万5000円となります。

8特別会計、2事業会計については2月、3月補正予算合わせて2億9600万円の減額補正が提案されました。

2月補正予算は、所管する常任委員会に付託、3月補正予算は、本会議で審議され、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。



旧築館高校跡地

旧築館高校跡地を宮城県から購入し、築館地区幼稚園の3年保育早期実施のための幼稚園整備の用地を予

定しています。価格については、評価額の半額に減免されています。

**旧築館高校跡地の土地購入費**  
1億4160万円

**2月補正**

**築館地区幼稚園整備基本、実施設計など委託料**  
3350万円

築館地区幼稚園の3年保育早期実施のための幼稚園整備の基本設計、実施設計業務などの委託料です。旧築館高校跡地の地質調査も行われます。

**若柳中体育館改修工事費**  
1億3150万円

平成25年度に改修工事を予定していましたが、国の平成24年度経済危機対応・地域活性化予備費により事業の前倒しが可能となったことから、屋根、外壁などのほか、玄関、ステージなどの改修工事が行われます。

## 一般会計2月補正予算の主な内容

- 旧花山中校舎、フール解体、体育館改修工事など  
1億 600万円
- 除排雪事業委託料などの増額  
1億2080万円
- 教育施設整備基金積立金の増額  
3億4070万円

3月補正

道路橋りょう維持費

10億6000万円

市道蟹沢南沢線ほか計35  
路線、総延長35・6キロメ  
トルの舗裝修繕が行われま  
す。



市道蟹沢南沢線（築館）

若柳中プール改築工事費

3億9850万円

50坪8コースのプールサ  
イド拡張、連動自動計時シ  
ステムなどの工事が行われ  
ます。

道路橋りょう新設改良費

4億1700万円

市道片馬合原線ほか  
計8路線の新設改良が  
行われます。



市道片馬合原線（金成）

築館多目的競技場改修工事費

2億4660万円

透水型人工芝、透水型ゴ  
ムチップウレタン舗装の工  
事が行われます。

除雪機械購入費

1億3800万円

15年以上経過した除雪ト  
ラック4台、除雪ロータリー  
3台が更新されます。

給水車購入費

1100万円

緊急時の備えとして、1  
台が追加購入されます。

陳情

件名	請願・陳情者名	処理結果
市道御蔵線と国道398号の交差点改良の早期着工に関する要望書	志波姫地区行政区長会 会長 高橋 勝守 ほか 5団体の代表者	紹介
志波姫地区内の市道の部分改良に関する要望書	志波姫地区行政区長会 会長 高橋 勝守 ほか 5団体の代表者	紹介
石油製品高騰への特別対策と石油製品の適正価格・安定供給を実現する行政施策強化の意見書提出を求める陳情書	宮城県生活協同組合連合会 会長理事 齋藤 昭子	紹介
非核三原則の法制化を求める議会決議・意見書採択のお願い	宮城県原爆被害者の会（はぎの会） 会長 伊藤 勝	紹介